

平成二十二年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成二十二年二月一日～平成二十二年四月末

投句数 一、八二二句

特選三句

天

自転車が江ノ電をぬく春の海

神奈川県川崎市川崎区 遠藤直子

地

天園の風と戯れ春の蝶

神奈川県鎌倉市 山本亮

人

傘貫ふ緋牡丹の早や崩れをり

神奈川県横浜市旭区 柳沢栄蔵

入選句

一般の部

灯を消して見よこの月とこの花を

東京都練馬区

勝田剛史

花冷えを背なに鎌倉切通し

東京都府中市

芝喜久子

海山に抱かれ鎌倉春まつり

東京都板橋区

渡辺里佳

鎌倉の椿の下に待ちにけり

埼玉県日高市

落合清子

鶯や山門に待つ人力車

東京都世田谷区

中村芳子

藤のこざりて神の大銀杏

東京都世田谷区

坂野民子

若僧の袈裟直し行く初音かな

東京都板橋区

及川信一

風立ちぬ一期一会の花筏

神奈川県鎌倉市

岡部陽子

鎌倉は第二の故郷風光る

神奈川県鎌倉市

池田幸子

鶯の谷渡りして寺も奥

神奈川県逗子市

佐藤信子

雨上り眩しきまでの芽吹きかな

東京都杉並区

稲垣克巳

水温む何時もの道を円覚寺

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

鎌倉へ巡礼に似し梅見かな

神奈川県横浜市栄区

葭谷健一

鎌倉に籍を移して聞く初声

神奈川県鎌倉市

星野谷光夫

あと三日あと二日かと桜かな

神奈川県鎌倉市

佐々木一馬

悠久の天へ芽を吹け大銀杏

神奈川県横浜市都筑区

菅原文子

鶯の声の中へと磴のぼる

埼玉県久喜市

北澤雄市

春告鳥鳴き交しては虚子の墓

千葉県千葉市花見川区

木村清華

春時雨先客のある虚子矢倉

東京都町田市

竹内弘

鎌倉に虚子忌立子忌実朝忌

神奈川県座間市

鈴木幸子

(順不同)

入選句

子どもの部

春風が鳥居をくぐる八幡宮

神奈川県大和市

伊藤舞南

鎌倉は寺だけでなく花もよし

東京都八王子市

今田哲平

段葛走りぬけるぞ桜道

神奈川県大和市

鎌田直樹

うぐいすはちくりんのなかよいひびき

神奈川県茅ヶ崎市

菊地航平

最高の鎌倉遠足もう一度

東京都八王子市

木戸口隼也

梅を見た大仏も見た忘れない

東京都八王子市

串田優衣

遠足で大仏様が「よく来たね」

東京都八王子市

今野佑理

聞こえるよ山の向こうに春の音

神奈川県鎌倉市

清水叡仁

春の海かがみみたいに空うつる

神奈川県藤沢市

坪田康介

大仏の顔がほころぶ春風に

神奈川県大和市

橋本周

(順不同)